

あ ゆ み

昭和49年 (1974年)	7月	第1回大阪府家庭婦人バドミントン親睦会開催(現個人戦) 主催 東大阪市バドミントン協会 主管 東大阪ミセスバドミントンクラブ この大会が家婦連誕生のきっかけとなる
	10月	第1回関西家庭婦人招待親善バドミントン大会 (現西日本バドミントン大会) 主催 東大阪市教育委員会・体育連盟 主管 東大阪市バドミントン協会
昭和50年	4月	任意団体大阪府家庭婦人バドミントン連盟結成 初代会長 村上平一郎 理事長 黒田勝之 登録13団体 112名
	7月	第2回大阪府家庭婦人バドミントン大会(現個人戦) 合同練習会開催 全日本家庭婦人バドミントン大会選手派遣(任意大会)
昭和51年		第4回大阪府家庭婦人バドミントン大会(任意大会)主管の準備委員会設置 大阪バドミントン協会加盟団体の承認認可の働きは実らず 大阪社会人バドミントン連盟への加盟を勧められる
昭和52年	3月	第1回団体リーグ戦開催
	11月	第4回大阪府家庭婦人バドミントン大会主管(任意大会)
昭和53年	3月	地域によるブロック制を取り入れ、4ブロックに分割 (北摂、北河内、中河内、泉南泉北) 第1回ブロック対抗戦開催
	4月	大阪社会人バドミントン連盟家庭婦人部会発足 大阪バドミントン協会傘下となる 会長 嶋 久雄 委員長 村井広美
昭和54年	4月	大阪府家庭婦人バドミントン連盟として、大阪バドミントン協会正式認可 二代会長 嶋 久雄 委員長 村井広美
昭和55年	10月	第7回関西家庭婦人バドミントン大会開催 これより連盟主催で行う (現西日本大会)第6回までは東大阪市主催
昭和56年	4月	4ブロックから6ブロックに再編する (豊能、三島、北河内、中河内、泉南泉北、市内)
昭和58年	3月	大阪府実業団バドミントン連盟との役員親善大会開始
	4月	6ブロックから7ブロックに再編する (豊能、三島、北河内、中河内、泉南泉北、市内、南河内)
	10月	第10回西日本家庭婦人バドミントン大会開催 (関西家庭婦人バドミントン大会を改称) 創立10周年記念大会および記念祝賀会 於 大阪共済会館
平成元年	8月	第7回全日本家庭婦人バドミントン競技大会主管 (都道府県対抗・クラブ対抗) ☆参加数 36都道府県より67チーム 545名
平成 3年	9月	◎ 登録者数1,000名突破
平成 4年	3月	「連盟だより」第1号発行
	4月	創立20周年記念事業実行委員会発足
平成 5年	10月	連盟創立20周年記念 第20回西日本家庭婦人バドミントン大会ならびに記念祝賀会開催 於 府立体育会館
平成 6年	4月	西日本家庭婦人バドミントン大会を日本家庭婦人バドミントン連盟に移管
	10月	第21回西日本家庭婦人バドミントン大会を主管
平成 7年	8月	第13回全日本家庭婦人バドミントン競技大会都道府県対抗戦 初優勝
	10月	国際親善婦人バドミントン大会'95開催 国際親善婦人バドミントン大会'95 記念祝賀会開催 於 府立体育会館
平成 8年	7月	第14回全日本家庭婦人バドミントン競技大会都道府県対抗戦 連覇
	10月	第2回国際親善婦人バドミントン大会開催
平成 9年	7月	第15回全日本家庭婦人バドミントン競技大会都道府県対抗戦 三連覇
	10月	第3回国際親善婦人バドミントン大会開催
平成10年	8月	連盟創立25周年記念祝賀会(嶋会長をかこむ会)開催 於 アウィーナ大阪
	10月	第4回国際親善婦人バドミントン大会開催
平成11年	10月	第5回国際親善婦人バドミントン大会開催
平成12年	4月	大阪府レディースバドミントン連盟と改称
	5月	理事長 村井広美 日本レディースバドミントン連盟理事長に就任
	7月	第18回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 優勝
	10月	第6回国際親善レディースバドミントン大会開催

平成13年	7月	第19回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 連覇
(2001年)	10月	第7回国際親善レディースバドミントン大会開催
平成14年	4月	役員交代 名誉会長 嶋 久雄 三代会長 江村美代子
	10月	第8回国際親善レディースバドミントン大会開催
平成15年	6月	名誉会長 嶋 久雄 逝去 嶋家・大阪府レディースバドミントン連盟合同葬として葬送
	7月	第21回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 優勝
	10月	ゴーセン杯第9回国際親善レディースバドミントン大会2003 冠大会とする
平成16年	10月	連盟創立30周年記念式典、祝賀会開催 於 ホテル日航大阪 功労者研鑽《感謝状、功労賞、表彰(個人・団体)》 ゴーセン杯第10回国際親善レディースバドミントン大会2004開催
平成17年	7月	第23回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 優勝
	10月	ゴーセン杯第11回国際親善レディースバドミントン大会2005開催
平成18年	7月	第24回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 連覇
	10月	ゴーセン杯第12回国際親善レディースバドミントン大会2006開催
平成19年	3月	第1回全日本レディースバドミントン競技大会(個人戦)主管(参加数402ダブルス・804名)
	7月	第25回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 三連覇
	10月	ゴーセン杯第13回国際親善レディースバドミントン大会2007開催
平成20年	10月	第14回国際親善レディースバドミントン大会 in U.S.A2008開催 (於 アメリカ カリフォルニア州 Orange County Badminton Club)
平成21年	4月	役員交代 四代会長 村井広美 理事長 廣瀬園子 国際親善レディースバドミントン大会 日本レディースバドミントン連盟に移管
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2009 主管(参加数231チーム)
平成22年	5月	近畿レディースバドミントン連盟30周年記念大会・記念祝賀会を当番県として主管・開催
	7月	第28回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 優勝 通算10回優勝
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2010 主管(参加数219チーム) 世界バドミントン連盟(BWF)副会長 Paisan Rangsitkitho氏、理事 Nora Perry氏 来阪
平成23年	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2011 主管(参加数208チーム)
平成24年	6月	会長 村井広美 公益財団法人日本バドミントン協会功労賞受賞
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2012 主管(参加数231チーム)
平成25年	5月	会長 村井広美 世界バドミントン連盟(BWF)より WOMEN IN BADMINTON AWARD 受賞
	6月	会長 村井広美 受賞記念祝賀会開催 於 ホテルニューオータニ大阪
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2013 主管(参加数255チーム)
平成26年	4月	事務局を東大阪市に移転
	6月	連盟創立40周年記念誌発刊
	7月	第32回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 優勝
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2014 主管(参加数280チーム) (20th Anniversary Competition) BWF理事 Nora Perry氏 来阪
平成27年	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2015 主管(参加数240チーム)
平成28年	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2016 主管(参加数243チーム)
平成29年	5月	会長 村井広美 日本レディースバドミントン連盟会長に就任
	8月	顧問 江村美代子 逝去
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2017 主管(参加数281チーム)
平成30年	7月	第36回全日本レディースバドミントン選手権大会都道府県対抗戦 優勝
	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2018 主管(参加数287チーム) ヨネックス株式会社冠協賛10回記念大会
平成31年	4月	役員交代 名誉会長 村井広美 五代会長 廣瀬園子 理事長 竹田由美子
令和元年	10月	ヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2019 主管(参加数278チーム) 大会創設25周年記念大会
令和2年		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大の為、主催大会及びヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2020を中止 連盟活動自粛となった
	8月	(公財)日本バドミントン協会より国際親善大会25回開催に対し感謝状授与
令和3年	3月	第44回ブロック対抗戦より1年ぶりとなる活動再開
	5月	名誉会長 村井広美 逝去 新型コロナウイルス感染症の収束は見えずヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2021を中止 主催大会は第39回全日本レディース選手権大会(クラブ対抗)大阪府予選会、後期団体リーグ戦の2大会のみとなる
令和4年		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の収束には至らない中、厳重な感染対策の下、すべての事業を行う
	6月	故 村井広美お別れの会 執行 於 ホテルアウィーナ大阪
	10月	3年ぶりとなるヨネックス杯国際親善レディースバドミントン大会2022 主管(参加数171チーム)